

図書館だより

6月号 (令和6年度)

川之石高校図書委員会



先日、「高校生のための文化講演会」が本校で実施されました。そこでも紹介があったとおり、『集英社文庫100冊セット』を寄贈していただきました。手続きが終わりしだい川高図書館での貸し出しを始めます。高校生にも読みやすい本ばかりですので、ぜひ借りて読んでみてください。



【新任の先生より】

『東川スタイル』(玉村 正敏・小島 敏明 編著)

地歴公民科 藤原 俊邦 先生



北海道に東川町というまちがあります。人口約8,500人。住民の約6割以上が移住者のこのまちに、私は先日とある「社会人プログラム」に参加するため10日間滞在してきました。大雪山の麓に広がる豊かな大自然と田園的景観や美味すぎる湧き水(上水道率0%)の恩恵にあずかりながら暮らす人びとは、「Life(暮らし)」のなかに「Work(しごと)」を持つという自然なライフスタイルを大切にしています。「まちには、60以上の個性的なカフェ、飲食店、ベーカリー、ショップ、工房などがあり、それぞれの「小さい経済」が成り立ち、人びとのライフスタイルと小さな経済が連鎖し、まちを活性させる豊かな生態系が形成されている。」と書かれたこのまちへ、私はプログラムに参加した「仲間」とともにこの本を常に携帯し何度も通いました。そして、さまざまなお店や工房をたずねてそこに暮らすたくさんの人びととの交流を深めました。「なぜ東川はそこに暮らす人びとや(私を含め)訪れる人びとを魅了してやまないのか?」の問いの答えは、この本に書かれている内容に加え各ページの半分を占める風景や人びとの笑顔の写真によって語られていて、実際の自然や人びととの交流のなかで、本の副題のとおり「人口8,000のまちが共創する未来の価値基準」を実感しました。この本は、これからずっと大切にしていきたい一冊で、この本とともにまた東川を訪れる日を楽しみにしています。



〔図書紹介〕

今年も読書感想文の季節が近づいてきました。本校でも「青少年読書感想文コンクール」に応募する作品を皆さんから募集する予定です。詳細は夏休み前に連絡しますが、その課題図書が決まりました。以下に読書感想文全国コンクール公式サイトからの紹介文を掲載しています。

川高図書館にも1冊ずつ入りますので、ぜひ読んでみてください。

『宙（そら）わたる教室』（伊与原 新 著）

東京・新宿にある都立高校の定時制に集った、さまざまな事情を抱えた生徒たち。彼らは「科学部」を結成し、「火星のクレーター」を再現する実験を始めた。煌々と明かりが灯った夜の教室で、小さな奇跡が起きる――。



『優等生サバイバル：青春を生き抜く13の法則』

（ファン・ヨンミ 作 キム・イネ 訳）

テスト、課題、進路、SNS、そして恋…。1日は24時間。やらなきゃいけないこと、考えなきゃいけないことは満載！！ハードな高校生活を生き抜くために、“優等生”のジュノが見つけた法則とは？

『私の職場はサバンナです！』（太田 ゆか 著）

さあサファリツアーへ出発です！南アフリカ政府公認・唯一の日本人女性サファリガイドが伝える知られざるサバンナの動物たちの生態、環境保護の最前線、人と自然が共生していくために大切なこと。



〔5月 月間図書貸出冊数〕

〈クラス別〉

5月1日～5月31日

1-1	1-2	2-1	2-2	2-3	3-1	3-2	3-3	合計
19冊	17冊	2冊	5冊	0冊	17冊	14冊	7冊	81冊

〈個人別〉

- 1位 14冊 清水 美愛 (3-1)
- 2位 12冊 清水 英磨 (3-2)
- 3位 9冊 吉本 陽向 (1-1)
- 4位 7冊 成田 春陽 (1-1)



**反省せずに読むことは、消化せずに食べる
ようなものだ。**

エドモンド・バーク
(アイルランド生まれの哲学者/1729-1797)